

提供日	平成 30 年 4 月 20 日
募集概要	<p>当研究所では、平成 30 年 6 月からの任期となる次期理事長兼所長候補者を公募することとしましたのでお知らせします。</p> <p>1 公募の趣旨</p> <p>日本国際問題研究所は、中・長期的視野にたって日本の外交政策及び国際問題を研究することを主たる目的とした研究機関（シンクタンク）です。</p> <p>その活動範囲は、国際関係・外交問題の基礎研究および外交政策企画立案のための国際情勢の調査研究・政策提言等を中心に、外国研究機関との研究交流や共同研究、国際シンポジウム/セミナーや講演会などの開催、外国研究員の招聘、研究資料の収集、研究成果の広報・出版活動など多岐にわたる公益事業を展開しております。</p> <p>上記の公益事業目的の達成と、公益財団法人としての安定的な運営実現に向け、優れた見識、運営能力、実行力をもって、理事長兼所長としてリーダーシップを発揮できる優れた人材を確保するため、外部有識者からなる選考委員会による厳正な審査を通じた選考を実施いたします。</p> <p>2 募集内容</p> <p>○理事長兼所長候補者 1名</p> <p>（下記8の審査結果を受けて、平成 30 年 6 月に予定される評議員会で理事に選任され、その後の理事会にて理事の互選により理事長兼所長に選定されます。）</p> <p>○職務</p> <p>理事長兼所長は研究所を代表し、業務（海外シンクタンクとの</p>

協議、国際会議の開催及び出席、内外の研究機関間対話、研究交流、ワークショップ・フォーラムの開催、対外発信等)の統括、財務の掌理、研究の全般的指導を行います。

### 3 勤務条件等

○勤務形態：常勤

○勤務地：当研究所（東京都千代田区）

○任期：平成30年6月27日～平成32年6月定時評議員会の終結時（再任の場合あり）

○報酬：当研究所「評議員及び役員の報酬等及び費用に関する規程」に従い、本俸月額60万4千円及び諸手当を支給

○福利厚生：健康保険、厚生年金保険等

### 4 応募資格・経験等（以下の要件をすべて満たす方を募集します）

(1) 心身ともに健康で、常勤の理事（理事長兼所長）として当研究所の運営にあたること。

(2) 国際社会の中で認められる高い識見、特に：

○内外の研究機関間対話及び研究交流で十分な実績を有するとともに、調査研究及び政策提言の分野における経験及び統率力を有すること、

○対外発信面での優れた実績及び能力を有すること、

○国際会議・セミナー等を主催する機会が多いことから高い英語能力を有すること、

(3) 高度なコンプライアンス・マインドやガバナンス強化の意識を有し、公平性と透明性を確保の上、業務遂行ができること。

(4) 欠格事項等

「公益社団法人及び公益財団法人の認定に関する法律」及び「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」の役員欠格事由に該当する場合は、理事となることができません。

(参照法令等)

「公益社団法人及び公益財団法人の認定に関する法律」第6条一項

5 申込方法

○応募希望者は、次の書類を文末のフォーマットにて、末尾の応募書類提出先へ必ず郵送にて提出してください。

履歴書

自己アピール文書

これら書類の返却はいたしません。

(Word フォーマットは以下からダウンロードできます。

<https://goo.gl/gSVLhT>)

6 受付期間

○平成30年4月20日～5月15日。

○郵送に限る(5月15日必着)。

7 選考方法

外部有識者からなる選考委員会により審査が行なわれます。

(1) 1次審査(書類審査)

1次審査の結果については、5月下旬(予定)に、本人あて郵便で通知します。

(2) 必要に応じ2次審査(面接審査)

5月下旬(予定)行います。

上記審査の結果、理事(理事長兼所長)候補者を決定します。なお、審査の結果該当者がいない場合もあります。

8 選考結果

選考委員会は、審査の結果、「理事(理事長兼所長)候補者」として適格性を有すると判断された方を理事会に推薦します。

この推薦により理事(理事長兼所長)に決定となるわけではありません(以下9を参照)。

9 理事(理事長兼所長)の決定

理事(理事長兼所長)候補者として推薦された方は平成30年

	<p>6月27日に予定される評議員会で理事に選任され、その後の理事会で互選により次期理事長兼所長に選任されます。</p> <p>なお、本公募を通じ、理事会が理事（理事長兼所長）候補者を評議員会に推薦しますが、このことは、評議員会が同候補者を理事に選任することを予断するものではありませんので、応募にあたっては予めこの点ご了解下さい。</p> <p>10 その他</p> <p>申込書に記載された情報は、理事（理事長兼所長）候補者選考実施の円滑な遂行のために用い、それ以外の目的には使用しません。また、個人情報保護規定等に基づき適正に管理します。</p>
<p>連絡先</p>	<p>応募書類郵送先</p> <p>（公財）日本国際問題研究所 〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-8-1 虎の門三井ビル3階 総務課宛</p> <p>（問い合わせ先 電子メールにて：saiyo@jiia.or.jp）</p>



整理番号 \_\_\_\_\_

年	月	免 許 ・ 資 格

特 技 等	通 勤 時 間	
	約 時 間 分	
	扶 養 家 族 数 (配 偶 者 を 除 く)	
	人	
	配 偶 者	配 偶 者 の 扶 養 義 務
	有 無	有 無

志望の動機・抱負（ご自身の経験・能力に照らして、ご自身が適任であると考え  
理由・根拠については、「自己アピール書」にご記入下さい。）

※本履歴書は、当財団が実施する理事長兼所長候補公募における審査および本人との連絡調整以外の目的では一切使用いたしません。本履歴書を提出される方は、右利用目的にご同意の上ご提出願います。





整理番号 \_\_\_\_\_

別紙 1

1 実績

可能な範囲で次の形態に区分して記入してください。

- ① 内外の研究機関間対話及び研究交流
- ② 調査研究及び政策提言の分野
- ③ 対外発信面
- ④ 国際会議・セミナー等におけるスピーカー、モデレーター、パネリスト等
- ⑤ 助成金、寄付金等の獲得

件数が多い場合は下記様式を追加の上記入して下さい。

「形態」欄には、上記①～⑤のうち該当するものを複数記載頂いて構いません。

形 態	国内・国外（外国の場合には国/地域を）	時 期・期 間	概 要 等
		年            月    ～            年 月 (        年        ヶ月)	
		年            月    ～            年 月 (        年        ヶ月)	
		年            月    ～            年 月 (        年        ヶ月)	

※本履歴書は、当財団が実施する理事長兼所長候補公募における審査および本人との連絡調整以外の目的では一切使用いたしません。本履歴書を提出される方は、右利用目的にご同意の上ご提出願います。

整理番号 \_\_\_\_\_

		年 月 ~ 年 月 ( 年 ヶ月)	
		年 月 ~ 年 月 ( 年 ヶ月)	

別紙 2

2 組織・業務運営に関わる実務経験

組織・業務運営に関わる管理職としての実務経験について記入下さい。  
件数が多い場合は下記様式を追加の上記入して下さい。

組 織 名	任 国 ( 海 外 で の 実 務 経 験 が ある 場 合 )	在 職 期 間	肩 書 き ・ 担 当 部 署 ・ 業 務 内 容 等
		年 月 ~ 年 月	

※本履歴書は、当財団が実施する理事長兼所長候補公募における審査および本人との連絡調整以外の目的では一切使用いたしません。本履歴書を提出される方は、右利用目的にご同意の上ご提出願います。

整理番号 \_\_\_\_\_

		年 月 ~ 年 月	
		年 月 ~ 年 月	
		年 月 ~ 年 月	
		年 月 ~ 年 月	
		年 月 ~ 年 月	

※本履歴書は、当財団が実施する理事長兼所長候補公募における審査および本人との連絡調整以外の目的では一切使用いたしません。本履歴書を提出される方は、右利用目的にご同意の上ご提出願います。

整理番号 \_\_\_\_\_

別紙 3

3 語学能力

語 学	自己評価レベル*
英 語	A B C
仏 語	A B C
語	A B C
語	A B C

\* 自己評価レベルは以下の A、B、C の中から該当するものを○で囲んで下さい。(C レベルにも満たない場合は、「C」の右端に×を記載して下さい。)

A：ネイティブと同等の十分なコミュニケーションが取れる。

B：業務上特段の支障なく適切なコミュニケーションが取れる。

C：日常会話程度は可能であるが、業務上の適切なコミュニケーションには支障がある

※本履歴書は、当財団が実施する理事長兼所長候補公募における審査および本人との連絡調整以外の目的では一切使用いたしません。本履歴書を提出される方は、右利用目的にご同意の上ご提出願います。